

ミッドガード広報局
～異世界配信系Vtuber、
頑張ります～

恋塚 灰羅

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

世はV t u b e r 戦国時代、様々なV t u b e r が動画投稿に配信に精を出していた。

異世界系V t u b e r、魔王に勇者に女神に天使、数えきれないほど存在するこのカテゴリに、一つのチャンネルが立ち上がった。

『ミッドガード広報局』。

異世界のありのままを放送するというこのチャンネルには少し秘密があったようである……。

異世界からV t u b e r 業界に殴り込みをかける作品です。

特殊タグは煉瓦氏の『美少女になつてちやほやされて人生イージーモードで生きたい！』より使わせていただきました。ありがとうございます。すごく面白いので皆読んで。

目次

【初配信】ミッドガードからこんにちは

1

おすすめVtuber紹介スレ2／異世

界からこんにちは（自己紹介動画）

13

【雑談配信】錬金作業しながら雑談でも

20

宮原飛鳥の独白／女神の雑談配信（女神

系Vtuberミルファ）

33

【ゲーム配信】美術館探索します【Evi

e）

45

錬金工房的一幕／【ミッドガード広報部】

出陣，白雷騎士団【無修正】／Vtube

rについて語るスレ10

55

【ミルらじ！】女神ミルファはラジオがし

たい！その3【ゲスト：シーメンス・クラ

ウン】

67

【ミルらじ！】女神ミルファはラジオがし

たい！その4【ゲスト：ミッドガード広報

局】

81

【初配信】ミッドガードからこんにちは

接続中

《left》

▶

▶?

♪

・

ライブ

《left》

《left》

?

?

?

?

#ミッドガード広報局

【初配信】ミッドガードからこんにちは

《left》 12 人が視聴中・1分前にライブ配信開始《left》



?共有 ≡?保存 …

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録

チャンネル登録者数 22人

「あー、あー」

「届いているみたいだね。よーし、シャルちゃん始めちやおうか」

「これに向かつて話せばいいのかしら? なんだかよく分からないわね」

「こんばんはー」

「うんうん、それでおつけーだよ。——あ、こんばんはー。シャルちゃん見て見て!

さっそく来てくれたよー！」

「あら、本当ね。こんばんはー」

「私たちの姿は映ってるかな？ 大丈夫？」

見えてるよ！

かわいい！

自己紹介にいなかった子だ

コラボ？

「大丈夫みたいよ。それでリリシア、説明はどっちがする？」

「じゃあシャルちゃんお願いできる？ その間にさつき作ったあれ持ってくるから」

「はいはい、任せなさい。まったく世話が焼けるんだから」

あれ？

さつき作ってたって？

「そこは後でのお楽しみね。さて、それじゃあ改めて自己紹介を始めさせてもらいましようか。彼女がリリシア、この画面に映っている工房の持ち主で、ミッドガードで随一の錬金術師よ。私はよく知らないんだけど、自己紹介動画ってやつ？ あれで皆知ってるのよね」

動画見たよ

動画よかったよ

「で、皆も気になっている私のことね。私はシャルロット。リリシアの友人よ。ミッドガードの方では——ええと、何て言えばいいのかしら——狩人みたいなことをやっているわ」

シャルロットちゃん

シャルロットっていうんだ

ん？

え？

みたいな？

どういうこと？

「魔物って言って伝わるのかしら。——ねえ、リリシアー！ あつちに魔物っているの——」

「知らない——」

「まあいいわ。魔物を狩る狩人のことね。はい、これが私の武器」

大剣だ！

すごい、スムーズなモーション

自己紹介動画でも思ったけれど3Dモデルすごいな

「すりーでい——…ああ、うんそうみたいね。全部リリシアに任せてるからその辺りはよく分からないのだけれど」

へー

リリシアちゃんすごいな

技術つよつよだ

「ええ、自慢の親友だわ。それでこうして配信している理由なのだけれど。なんか最近、ばーちやる？が流行ってるみたいじゃない。だからその波に乗って私もって。リリシアが言っていたわ」

軽い

いい行動力だ

草

ばらされてる草

「まあね。と言っても私は良く分からないのだけれど。今日だってリリシアを食事に誘おうと思っただらこれだもの」

「お待たせー。ねえシャルちゃん、あれ出来る？」

「あれって何よ」

「放送前にお願ひしてたあれだよー。やってもらうかもって言ったじゃん」

「ああ……そういうことね。どうりでスライム爆弾なんか……、まあ任せておきなさい」

なんだなんだ

何をするんだ

何だ

スライム……？

爆弾……？

いったい何が始まるんです？

「それじゃあ始めていくねー。演舞を見せてくれるのはこちら、シャルちゃんことシャルロツテちゃん！」

→第三次大戦だ

何か始まったぞ

なんで距離を取ってるんだ

→第三次大戦だ

お

あ

お
お

剣を抜いた！

ポーズかっこいい！

「準備は大丈夫だね。じゃあ行つくよー。どっかーん！」

!?

投げた!?

投げた！

!?

爆発！

爆発した！

爆発したぞ

やばい

すごい

なんか飛び散ってる

スライム？

スライムだ！

「せえりやああああ!!」

斬った!

斬った!

すごい

モーシヨン凄い

なんだこれ、なんだこれ

アニメーション…?

飛び散ったスライムがシャルロットちゃんに斬られて……分からん!

すごいことしか分からん

いったい何が起こったんだ

「シャルちゃんありがとうー。ぐっじよぶ!」

「これで良いのよね。……うわ、すごいわね。なんか文字がすごい勢いで飛んでいつてるわ」

「ほんとだー。……うえ!? なんかすごいっぱい来てる!」

すごかった

お疲れ様

シャルロツテちゃん動きかつこよかった！

初見です技術勢だ！

初見ー。すごいものが見られると聞いて

「いらつしやーい。んー、これ以外の物は全然用意していないんだけれど……シャルちゃんどうしよ？」

「私に聞かれても分からないわよ」

「むう、どうしようどうしよう。こんなにかくさんの人たちに見てもらえるってわかかってたらもう少し準備してたのにい」

可愛い

かわいい

ええんやで

気にしないでいいよ

かわいい

「まあいつか。とりあえず、こんな感じで皆にミッドガードの色んなものを伝えていくつもりだよー。こっちの魔術とか武術とかいろいろ紹介出来たらいいななんて思ってます」

「リリシアの作った錬金物も見せてあげたらどうかしら」

「それも予定しているよー。だけど見栄えがあれじゃない？　なんか画面映えるように少し考えてみるから、少しだけ待っててね」

「それもそうね」

「じゃあちよつと早いけれど今日はこれで終わりにしちゃおうかな。それじゃあ皆、またねー」

この放送は終了しました

《left》 ▶ ▶ ? ♪ ・ライブ 《left》 ? ? ? ?

#ミッドガード広報局

【初配信】ミッドガードからこんにちは

《left》 143 人が視聴中・22分前にライブ配信開始 《left》

2 ☑ ? 共有 ≡ ? 保存 :

☑ 3

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録
チャンネル登録者数 121人

おすすめV t u b e r 紹介スレ2 / 異世界からこんにちは は (自己紹介動画)

【おすすめV t u b e r 紹介スレ2】

246 : 名無しのなにかしさん

月喰レイナ

ホラゲ実況見てみる

247 : 名無しのなにかしさん

勇者ゼヴィのモーション好き

248 : 名無しのなにかしさん

最近ゲーム実況系増えすぎ

技術でおすすめ教えてクレメンズ

249 : 名無しのなにかしさん

>>248

ミルファ

250 : 名無しのなにごしさん

>>248

方向性は違うが東鋼巧のクラフト系はいいぞ
リアル工作が捗る捗る

251 : 名無しのなにごしさん

>>248

シーメンス・クラウン

3Dゲーム作成動画マジおすすめ

252 : 名無しのなにごしさん

>>248

ミッドガード広報局見てくれ

何やってるか分からんがたぶん技術勢

253 : 名無しのなにかしさん

>>248

ミルファはいいぞ

254 : 名無しのなにかしさん

>>252

なんだこれ

なんだこれ

255 : 名無しのなにかしさん

>>252

やべえ新人きたな

256 : 名無しのなにかしさん

こいつ企業勢だろ

257：名無しのなにかしさん

少なくともまだ名前は出てない

ただ技術力見る限りたぶん企業勢

258：名無しのなにかしさん

これ個人ならだいたいぶ頭おかC

キャラモデヤアニメーション相当時間かけてると思われ

259：名無しのなにかしさん

やべえ

これはやばいやつ来たな

260：名無しのなにかしさん

ほーん

可愛い子やん見てみるわ

261：名無しのなにかしさん

《l e f t》



▶ ?



《 / l e f t》

?

?

?

?



初配信終わって登録者一気に増えたな
こりや今後に期待だな

異世界からこんにちは

《left》 372回視聴・2018/02/05 《left》 49 ?

共有 ≡? 保存 …

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録

チャンネル登録者数 214人

「今日の錬金作業は終了つと。メリッサさんにお問い合わせしていたのもオツケーだし、ギルドに提出する分も……んん、これ、何だろう」

（部屋の中央にふわふわと黒い球体が浮かんでいる）

「どこかで見えたような……あつ、師匠せんせいの本に書いてあった『異世界の扉』？ 記述が正しければ、確か、異世界に繋がっているんだよね」

「異世界、異世界かあ。どんな世界なんだろう。どんな人たちがいるんだろう。少し気になる、かな」

「えっと、これで異世界の皆に私の姿が見えているんだよね。皆さん、こんにちは。錬金術師のリリシアです」

「なんか錬金術をしていたら、気づいたら異世界への扉が開いちゃってたみたいで……、ついついこうして異世界に來ちやいました！」

「せっかくこうして異世界に來たんだから、皆のことを知りたいし、私たちの世界、ミッドガードのことも知ってもらいたいなって思っています。まずは手始めに私たちの方からかな」

「ミッドガード広報局って名付けたのも、私たちの世界を皆に伝えたいなあって思ったからです。こっちの道具や技術を色々と広報できる場にしていきたいなって」

「これから応援よろしく願います。じゃあまたねー」

【雑談配信】 錬金作業しながら雑談でも

接続中

《left》

▶

▶?

♪

・

ライブ

《

l

e

f

t

》

?

?

?

?

#ミッドガード広報局

【雑談配信】 錬金作業しながら雑談でも

《left》 57 人が視聴中・1分前にライブ配信開始《/left》

☒ 2

☒

?共有 ≡?保存 :

《left》 ミッドガード広報局 《/left》 チャンネル登録
チャンネル登録者数 235人

待機

待機

錬金楽しみ待機

「こんにちはー。ミッドガード広報局へようこそ！」

はじまった!

こんにちはー

きたー

「あ、こんにちにはこんにちはい。来てくれてありがとうー！ それと初配信のときもありがとー。いっぱい楽しんでくれたみたいでよかったですよかったです」

初見ですー

アーカイブすごかった！

楽しかったよ

シャルロットちゃんは今日は来てないの？

「シャルちゃんは暫く来ないよ。少し長い依頼受けたみたいで、昨日王都を出ていったところー。ちょっと遠くの山までドラゴンを狩りに行ってくるみたい。戻ってきたらその素材使つてすごいの錬金するから楽しみにしててね」

ドラゴン!?

次のモデルはドラゴンか

ほう、ドラゴンとな

「わ、すごい。他の色んなぶいちゅーばーさんたちも来てくれてる。いらっしやいいらっしやいい、ゆっくりしていつてねー。それでそれで今日は皆さんお待ちかねの錬金作業やつていくよー！ ついでに色々お話ししましょ。ミッドガードのお話もしたいし、皆の世界、えつと地球？の話もしたいし」

錬金術？

ほうほう

今日はどんなものが見られるんです

設定公開配信かな

配信初めてだから楽しみ

「この後ろにちらちら見えていたのが錬金釜！ これを使って錬金作業進めていくよー。じゃあまずはポーションから行ってみよう」

ポーション作るのか

やべえV t u b e r 現れたな

ポーシヨン，馬頭，うっ頭が
ポーシヨンですか……

「あれ？ 地球の方にもポーシヨンってあつたんだ。じゃあ見慣れた光景でつまらないかも。ユグドラの葉っぱの刻んだやつと二枚貝の真珠の粉末を錬金釜にどぼーん！ つとして，スライムの体液とワームの血液を混ぜた特製の薬液をどぼーん！」

何？

何だつて？

何の葉っぱ？

ほうほう

スライム？

ワームとかゲテモノ臭するんだが

どぼーん可愛い

楽しそう

かわいい

「あととはぐるぐるぐる、ぐるぐるーって混ぜてーっと。そういえば具体的にこれからこういうのやりたいて言ってなかったよね、多分。せつかくだからそのあたりについて話そっか。それじゃあ、ここから少し真面目モードで行きますー」

おおー

聞きたい

おお

頬ばんばんするのかわいい

ほう？

確かに言ってなかった

「まず一番はここの世界、ミッドガードのことを地球のみんなに知ってもらいたいです。そのためにこんな感じで錬金術を披露したり、この前のシャルちゃんみたいいろいろな人を呼んで披露してもらったりしようかなと思ってます。チャンネル名を『リリシアちゃんねる』じゃなくて『ミッドガード広報局』にしてるのもそういうわけなんです」

なるほど

面白そうだね

なる

ほうほう

「それとみんなの世界の地球のことも知っていききたいなって思います。だから地球の色んな物にも触れていきたいなって。面白そうな遊びとかあったら教えてほしいです」

ホラゲやる？

壺やって♡

どんなジャンル好きなん？

錬金術士だから某アトリエとかやってみてほしい

／ボンツ／

!?

爆発した!?

爆発!?

えっ!?

「あ、完成！ ビンに掬い取ってつと。中級の回復ポーション出来上がりー。しっかりと魔力を込めていればこんな感じで綺麗なシアンブルーになるんだよー」

出来たのか

綺麗

俺の知ってるポーションと違う

さっきのどろどろはどこに行ったんだ

綺麗だ！

「じゃあちよつと效能をチェックしてみようか。えつと……」

ポーション綺麗

ん？

え？

何探してるんだ？

「あつたあつた。……あ、これからやることは、ばーちやる。だからみんなはマネしないでね」

ナイフ？

あつ

あつ

「つつう……。こういった切り傷もポーシオンを飲んじやえば、んくつ、この通り！ あ程度の傷なら治してくれるから魔物退治に必携の代物！ 今ならなんと爆発ポーシオンも付けちやうよー！」

おお

血が消えた

治った

なんか始まった

テレフォンショッキングかな

「とと、話戻すね。これからやっていきたいことはまあそんな感じ。じゃああとは私のこととかシャルちゃんのこととか、皆聞いてみたいことあったら何でも聞いてねー」

ん？

ん？

趣味とか聞きたい

なんでも？

つぶやきアプリは使ってないの？

「んー、趣味かあ。錬金術が趣味を兼ねてるから……、あとは魔物狩ギルドの酒場で冒険譚を聞くことかな。お話聞くのすごく楽しいよー。辺境の村での小さな恋愛話からやんごとなき事件に巻き込まれた話までいっぱいいっぱい！ つぶやきアプリ？ つぶやきアプリってどんなの？」

え

知らないの？

つぶやいたー知らんのか

「配信終わったら調べてみるね。なにせミッドガードにでんしきき？は殆ど無いから分からないことだらけなんだよね」

なるほど、そういう設定ね

これから知っていけばええんやで

設定凝りすぎですぐにボロ出そう

ええんやで

「さてと、ポーションの瓶詰めも終わつたし次の作っていくよー。今度は爆薬だから皆に派手なの見せられると思うよ！」

おおー

楽しみ

さつき以上に爆発するのか…

期待

《l e f t》

▶

▶?

♪

・
ライブ

《l e f t》

?

?

?

?

この配信は終了しました

・ ・ ・

#ミッドガード広報局

【雑談配信】 錬金作業しながら雑談でも

《left》 123 人が視聴中・84 分前にライブ配信開始《left》

41 ☒ ? 共有 ≡ ? 保存 :

☒

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録
チャンネル登録者数 267人

宮原飛鳥の独白／女神の雑談配信（女神系V t u b e r ミルファ）

リリシア・L・フィオーナ@ミッドガード広報局／@Lillicia | Midg
a r d

これで出来てるのかな

つぶやいたー始めました

@27 ?41 ♡73 ∴

R e p l y t o @Lillicia | Midgard

名無しのおぶらげ／@Klayd65Mlv

推します

@0 ?0 ♡0 ∴

白雪／@whiteschnee

待つてましたー！ これからの活動楽しみです

@0 ?0 ♡0 ∴

ミッドガード広報局。突然現れたこのV t u b e rが気になって仕方がない。

自己紹介動画は世界観設定の紹介みたいなものだった。錬金術士のアトリエを背景に少女の3Dモデルがわたわたと忙^{せわ}しく動き、異世界との交流を宣言するという動画で、一見したところごく普通の自己紹介動画だった。

けれども宮原飛鳥は断言する。あれは普通ではない。

手の動きがスムーズに過ぎた。指の動きが一つ一つ反映されていた。瞳が動いていた。髪を払う仕草が自然に過ぎた。

一般に手に入るモーションキャプチャー機材ではあそこまで細かな表現が出来ない。瞳の動きを反映するアイトラッキング機能が搭載されていない。物理コライダーの設定、或いはアニメーションの設定をどれほど凝れば、指に一瞬絡んで止まる髪を作り上げられるのだろうか。

そも背景からしておかしい。アセットストアをそれなりに見てきた自分が見覚えの

ない素材ばかり、ローポリモデルにありがちな角張った物体は一つもない。少なくとも影の表現からして仮にローポリだとしてもノーマルマップをしっかりとベイクし、法線を整えているはずだ。

すなわちすべての質が高すぎる。たかが自己紹介動画に全力が過ぎる。

にも関わらず、自己紹介動画に字幕編集は無かった。一見したところ、編集されているのはシーンカットくらいだろうか。あとは同じシーンを使っているのならば黒い球体もあとから付け足したのかもしれない。それくらいだった。

最初の配信だって、二つ目の雑談配信だって、ツツコミどころはたくさんあった。それでも一つだけ挙げるのなら、二つ目の雑談配信でのナイフで掌を切ったシーンだろう。ナイフで切って血の雫が落ちる。文字にするとたったこれだけのシーンでどれくらいの苦勞をすることになるだろうか。

宮原飛鳥はミッドガード広報局が気になって仕方がない。その秘密を知りたいと思っている。だから、アプローチをかけてみることにした。



《left》
 ▶ ▶ ?
 ♪ ・ライブ 《left》
 ? ? ? ?

#ミルフアライブ

女神の雑談配信！ マシユマロ返信回

《left》 262 人が視聴中・1分前にライブ配信開始 《left》

☒ ? 共有 ≡ ? 保存
 ∴

☒ 12

《left》 ミルファ@女神系バーチャルyoutuber 《left》 チャ

ネル登録

チャンネル登録者数 1268人

待機

待機させてもらうよ

待機ー

魔王待機してるの草生えるんだが

待機

「聞こえていますかー?」

お

きたー

始まった!

こんミルー!

「来てる来てるー、いっぱい来てますね。とーふさんこんミルー、佑月さんこんミルー、クラゲイモさんこんミルー、魔王ドライグさんこんミルー、わ、わ、追いきれない……、みなさんこんミルーですよー」

こんミルー

諦めたww

「今日ですすね、今週募集してたマシユマロに答えていきたいと思います。それじゃあ一通目行ってみましょう」

ミルファ様こんミルー！

動画で魔法の紹介してたけど、どれくらい魔法使えるの？

マシユマロ

？
”

魔法動画すごかったよ

かつこよかった

「魔法はいっぱい使えますよ，女神ですから。けど見栄え的に皆さんに見せられるのは動画に上げた三つくらいですね，今のところは」

ほーん

いっぱい（3つ）

イキリ女神

「イキつてないですう，女神だから何でも出来ちゃうんですー。次行きますよ，次！」

女神様ホラゲやって♡

マシユマロ

？
“

「……，取り上げるマシユマロ間違えちゃったみたいですね，次行きますよ次ー」

ホラゲから逃げるな

ぼんこつ女神

何でも出来る（ホラゲ除く）

逃げるな

よく他のV t u b e rの配信を見ているのですが
女神様におすすぬめあれば教えてください

マシユマロ

？
”

「そうですねえ……」

あ

確かに知りたい

あー

「大御所さんのV十傑バーチャルが話題になる前から動画投稿をしていた十人の猛者たち。大半は企業所属の方々は当然とさせていたでござまして、それ以外となりますと、終るいさんのゲーム実況はとて面白くておすすぬめですし、シーメンスさんは同じ方向性

なのですごく応援してますよ。あとは姫華さんに結万崎薫さんでしょう……」

十傑は必修科目

オタク特有の早口

だいぶ見てる

ただのファンで草

「それとリリシアさん……ミッドガード広報局さんですね。最近V t u b e r になったばかりの方らしいのですけれど、あの方も技術がすごい方なのでおすすめてですね」

さっそく切り抜かれてたな

期待の新人

女神様の次に推してる

「あんまり語り過ぎてもあれですね。機会があればまた色々と紹介することにして、次のマシユマロに行っちゃいましょう」

お仕事で失敗して辛いので慰めてください

マシユマロ

?”

. . .

◇ ◆ ◇

配信を終えて一息つく。ずっと喋り通して喉がからからだ。脇に置いておいたカルピスをくいと一息にあおる。この一瞬，女神系V t u b e rミルファから宮原飛鳥へスイッチが切り替わる。

配信終了を呟いて，視聴者たちからくるいいねやコメントの通知に思わず笑みがこぼれる。こっちのアクションに反応が返ってくるというのが一番嬉しいことだ。中々ど

うして承認欲求が満たされてたまらない。

今回の配信で伏線を敷いておくことが出来ただろう。気になっているV t u b e rとして彼女に触れることが出来たから、多少彼女と関わっても唐突である感覚は軽減されただろうか。あとは話すタイミングか。

ひとまずは次の彼女の配信を待つて、それからアプローチをかけよう。出来れば次の配信がゲーム実況系だところらとしてもやりやすいのだが、果たしてどうだろうか。

【ゲーム配信】美術館探索します【E v i e】

リリシア・L・ファイオーナ@ミッドガード広報局／@Lillicia | Midg
a r d ・ 4 時 間 前

次の配信ではいよいよ地球のゲームをやってみたいと思っております！

@ 3 1 ? 6 1 ♡ 1 1 3 ∴

R e p l y t o @ L i l l i c i a | M i d g a r d

ミルファ@女神系vtuber／@V | milfa

地球のゲーム∴何をなさるのか今からすごく楽しみです

@ 6 ? 7 ♡ 4 2 ∴

魔王ライナ@Vtuber／@rainna | 666

ほう、ゲーム配信とな。楽しみに待っております

@ 2 ? 1 ♡ 2 0 ∴

黒犬／@blackdogyl41

おー！

《left》 ▶ ▶ ? ♪ ・ライブ《left》 ? ? ? ?

#ミッドガード広報局

【ゲーム配信】美術館探索します【E vie】

《left》 72 人が視聴中：1分前にライブ配信開始《left》

?共有 ≡?保存 ∴

☒3

☒

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録

チャンネル登録者数 452人

待機

待機

ホラゲと聞いて

「ん、んっ。よしっ。こんばんはー。ミッドガード広報局によろこそー！」

おー

こんばんはー

わこっー

こんばんー

「こんばんはこんばんはー！ わ、わ、いっぱい来てくれてるー！ こんばんはー！」

こんばんはー

切り抜きから

切り抜きで一目惚れしました

女神様から

「ほんとみんなありがとねー。切り抜きつてあれだよね、欲張りセット。あれすごいよね。ぶいちゅーばーさんたちの見所いっぱいですっごく見易い」

わかりみ

時間あまりないから助かってる

間違いなく今のV境界の功労者

「なんかあそこに並ぶと私もぶいちゅーばーさんたちの仲間入りしたんだーって嬉しくなるよね。すごいすごい！」

すごい

すごいのはあんたやで

もう立派なVだよ

「えへへ、ありがとー。あ、それならはじめましての人もいっばいだよね。ミッドガード広報局のリリシアです。ミッドガードで錬金術士をやってます。前回の配信で色々と錬金術を見せてみたので気になったら見てください、って少し宣伝したところで、いよ

いよ今日の本題、やっていこー」

宣伝助かる

あれは見なきや損

錬金術（爆発）

宣伝助かる

宣伝助かった

「えっと私をこっちに動かしてつと。これで映ってるのかな。はい、それじゃあ美術館を一緒に見て回りますよー」

E v i e きたー！

エヴィー！

ホラゲの時間だー！

「ゲームスタートつ。えっと……『灰暗い灰空の下、エヴィーはお父さんお母さんと一緒に美術館にやってきた』——」

『着いたわよ、エヴィ。エヴィは美術館初めてだったわよね?』
 『おお、そうか。じゃあ今日は思い切り楽しんでいきなさい。今日は「ビスカナ展」で
 いっぱい人がいるから迷惑をかけないようにな』

「ん、止まった……、あ、動かせるようになったのかな。えつと何々……『先に見て回
 りたいだつて。仕方ないなあ。何かあったらスタッフのお兄さんたちに聞くんだよ』。こ
 れで一人で見て回ればいいのかな」

恒例の一人行動

なぜホラゲの主人公は一人で行動しようとするのか

そうやでー

いっぱい人もいるし安心やな!

人がいるからホラー要素なんてないはずや!

「うわあつ! いっぱい絵が置いてある! えつと何々、『××の××』『善悪の彼岸』? な
 んだろう?」

読めない字がある

エヴィちゃんは小学生だから

考察要素

「へえ。少しぞわつとする絵だね。真っ暗闇から見つめられてるなんて、少し不気味。引きこまれそうな瞳」

もう怖い

美術館のこういうのリアルでも怖い

引き込まれそう

引きずり込まれる

せやな

「こっちは……『X』『愚者』、『Xの精神』『裸の精神』、『不安』……」

絵綺麗だよなあ

ドット綺麗で好き

「二階の方は……オブジェがメインみたいだね。『個性無き個性』、『水』、『夢色の器』……あれ、ここは絵なんだ。おっきい絵……『×の世界』『×の世界』？ んえっ……!!」

始まったな

いい反応

かわいい

始まったか

きたー！

「なんか一瞬暗くなっ……ちよつと待って、誰もいない？」

!?

!?

イケボ!?

かっこいい声急に出さないで

イケボ!?

「やっぱり誰もいない……、幻とか転移系のあれこれ、かな。一先ず見て回るね」

低い声善き

かつこいいんだが

ホラゲでイケメンモードになるV t u b e r

耳が幸せすぎるんだが

・ ・ ・

錬金工房の一幕／【ミッドガード広報部】出陣，白雷騎士 団【無修正】／V t u b e r について語るスレ10

「失礼する。店主殿はおられるだろうか」

からんころんと軽快な音を立てて扉が開き、白銀の澄んだ声が発せられる。刃のよう
に鋭い眼で白雪の髪の女騎士は店の奥に通じる扉を見つめていた。

店内に他の客の姿は無い。どうやって稼いでいるのか疑問に思えるほどには普段か
ら閑古鳥が鳴いているこのお店だが、今日はいつにも増して客がいない。

「はいはい。お待ちせしましたー……つと、ルナさんいらっしやいませー。今日はど
うしたんです？」

奥から出てきたのは一国一城の主というにはまだ年若い、流れるような翠の髪を持つ
女性だった。彼女の変わらない屈託無い笑顔にルナと呼ばれた白銀の女騎士は目を
緩めた。

「久方ぶりだな、店主殿。確か三月ぶりくらいだろうか」

「そうですねー。水霊の月初めに会ったつきりだからそれくらいかな。ガール帝国の演
舞祭に行ってたんでしたっけ？」

「ああ。近衛任務だけのはずだったんだが、姫様の気まぐれでな。まさか演舞祭に出て優勝してこいと言われるとは思わなんだ。さすがの私でも至園級の魔物狩やら神靈級の術士やらには苦勞するというのが。……そういえば至園級で思い出したが、リンド卿の御息女——『断空の嶺嬢』は出場してなかったな。彼女なら興味を持ちそうなのだが」

「シャルちゃんなら確かその時はユグレノ靈峰に行つてたはずですし、少し前に帰つてきたんですけど、すぐに獄焔龍の討伐に行っちゃいましたよ」

話題にあがった親友の姿を思い出して翠髪との女は言う。距離を考えればもう帰つてきていてもおかしくはないが、彼女のことだ、また面白い出会いをしているのかもしれない。伊達ほしみに星見の聖女に『絡む縁は複雑怪奇』と予言されたわけではない。

「ほう、そちらはそちらで面白そうだな。つと、あまり長話をするのも迷惑か」

「そんなことないですよ。見ての通りの開店休業ですから、むしろ長話のほうが助かります」

「そうか。ならば良いのだが。——む、賊……いや、違うか。店主殿、あの光は新しい魔道具の類いだらうか」

白銀の言葉に一瞬ほかんとして、すぐに合点がいったのか、翠髪の女は風精靈シルフィもかくやという明るい無垢な笑顔を浮かべた。

「そうなんですよ。それで、せっかくだから、面白いことでもしません？ 白雷騎士団びやうらいの

皆も呼んで、訓練のつもりで」



リリシア・L・フィオーナ@ミッドガード広報局／@Lilicia | Midg
ard・2時間前

少し後くらいに動画を出せると思います。ちょうど今えんこーどつてのをしています

@31 ?61 ♡113 :

Reply to @Lilicia | Midgard

ミルファ@女神系Vtuber／@V | milfa

投稿お疲れ様です

@2 ?2 ♡10 :

鈴峰弥生@Vtuber／@Suzumarch

うpおつですよー！ 楽しみですっ

@0 ?1 ♡5 :

壱原／@Ichihara

お疲れ様です

@0 ?0 ♡1 :

白雪 / @whiteschnee

待ってました！ どんな動画になってるかすごく楽しみ！

• @0 ? 0
• ♡ 1
• :

• •



《left》 ▶ ▶ ? ♪ 《left》 ? ? ? ?

【ミッドガード広報部】出陣、白雷騎士団【無修正】

《left》 26回視聴 《left》 ☒3 ☒ ?共有 ≡?保存
:

《left》 ミッドガード広報局 《left》 チャンネル登録

チャンネル登録者数 489人

《left》 2018/02/18 に公開 《left》

ミッドガード広報局のリリシアです。

王国が誇る精鋭部隊、白雷騎士団に来てもらいました。洗練された妙技の数々、とくとご堪能ください！



「総員、構え」

物々しい鎧を身につけた白銀の女騎士が剣を掲げる。女性のみで構成された一個小隊の騎士たちはまるで一つの生き物であるかのように整然と立ち並び剣を構えた。

「異世界の皆さん、こんにちはー！ ミッドガード広報局のリリシアです」

草原を背景に翠髪の女性、リリシアの声がヘッドフォンへと伝わる。

異国情緒溢れる世界はバーチャルならばこそ。地球のどこにも存在しないような不思議なデザインの世界はバーチャルならばこそ。

異世界から配信を行うという「設定」のV t u b e rはまさしくその動画の中で見事に一つ世界——架空の世界たるミッドガードを視聴者へと提示してみせる。

「今日は^{録画}ろくが^{撮影}さつえー」でミッドガードのあれこれを伝えていきますよー！ 題して……」

ででん、と気の抜けた声で続ける。

「^{ファンタジー}ふあんたじー」の^{アニメ}めに^メぬ」の^{ワンシーン}わんしーん」！ 騎士団のかっこいい動きを見せちゃおうよ企画ー！ どんどん、ぱふぱふ……でいいんだよね？」

締まらない言葉で首を傾げるリリシア。

「今回はなんと私たちの住むフィロライト王国が誇る騎士団、白雷騎士団さんたちに来てもらいましたー！ 録画だけど、無修正？ 編集みたいなのはできる限り無しで、ありのままの姿を見せていくつもりです。うん、じゃあルナさん、お願いしますー！」

瞬間、画面が切り替わる。

草原に居並ぶは白銀の鎧。腰には統一された規格の剣を佩き、凜然として真つ直ぐに見据えてくる。

「総員、構え」

白銀の刃を思わせる、鋭く澄んだ声が響く。騎士たちは一糸乱れぬ動きで剣を各々眼前へと掲げた。

「初めまして、で良いのだろうか。良い？ うむ、では改めて……こほん、白雷騎士団統括のルナリアムだ。今日は店主殿の誘いで騎士団の訓練に来たのだが、さて、何をするのか聞いても良いか？」

「もちろん。まずは手慣らしに誘魔香ゆうまこうを使って誘き寄せた魔物たちの討伐、身体が温まったら私の作った錬金生物たちと戦ってもらいます。それから……／そんな感じですね」

「なるほどな。——そういうわけだ。総員、トライアドレイグナイト三人一組で戦闘準備。

出^し借^しみ^なく、加^減な^く
 白雷騎士団の総力を見せつける」
 「了解っ！」

・
 ・
 ・
 ◇
 ◇
 ◇

【V t u b b e r について語るスレ10】

318：名無しのなながしさん

推しのV多すぎて聖徳太子になつてるわ

319：名無しのなながしさん

それな

もう複窓デフォになつてて草

320：名無しのなながしさん

V界限から国家機密が輸出されたと聞いて

3 2 1 : 名無しのなにかしさん

国家機密? なんぞ?

3 2 2 : 名無しのなにかしさん

そんなやべえのいたつけ?

3 2 3 : 名無しのなにかしさん

無修正のあれか

S U M O U の系譜を感じる

3 2 4 : 名無しのなにかしさん

ああ，ミッドガードのあれね

剣を振れば電撃が走るわ詠唱すれば魔法陣出るわ，すごいやつ

3 2 5 : 名無しのなにかしさん

国家機密ってそういうことか w w

326：名無しのなにかしさん

ミッドガード？最近よく話聞くし動画なら見てみようかな

327：名無しのなにかしさん

>>326

見とけ見とけ

見なきや損だぞ

328：名無しのなにかしさん

>>326

見るべき

かつこよすぎて10分なんてあつという間だぞ

329：名無しのなにかしさん

シーメンスといいミルファといいミッドガードといい，ゲームとして配信してほしい

V多すぎ

330：名無しのなにかしさん

シーメンスは自作ゲーム作成中なものな

あと二人は知らん

331：名無しのなにかしさん

ミルファもそつちの畑出身つてどっかで漏らしてた希ガス

332：名無しのなにかしさん

これがまじもんの無修正なら面白いんだがな

333：名無しのなにかしさん

Vの中にまじもんのいたらいいな

334：名無しのなにかしさん

時間停止モノの9割やらせ定期

335：名無しのなにがしさん

1割本物定期

つまりミッドガードは1割の方

336：名無しのなにがしさん

とまれ動画勢もつと増えてくれ

【ミルらじ!】女神ミルファはラジオがしたい!その3
【ゲスト：シーメンス・クラウン】

《left》

▶

▶?

♪

・ライブ

《left》

?

?

?

?

#ミルファalive #ミルらじ!

【ミルらじ!】女神ミルファはラジオがしたい! その3 【ゲスト:シーメンス・クラウン】

《left》 381 人が視聴中・34分前にライブ配信開始《/left》 ☑7

1 ☑1 ? 共有 ≡? 保存 :

《left》 ミルファ@女神系バーチャルyoutuber 《/left》 チャ

ネル登録

チャンネル登録者数 1788人

「これからはゲームの実況もやっていきたい、ということですね」

「うん。メインコンテンツのゲーム作成動画を疎かにしない程度に、月に一回か二回くらいかな、動画を作っていけたらいいなって思ってるよ。僕は配信向きじゃない分、動画でしつかり、だね」

クリエイイト系得意そう

f p sとかやってみてほしい

「何をやるかまでは内緒だよ。というか決まっていらないんだ。思いつきだからね。だからまあ期待しないで待ってってくれると助かるかな」

「なるほどなるほど。果たしてその時が来るまで私は天界の雑務に集中出来るのかどうか、わくわくしすぎて何も手につかなさそうです。ーさて、気が付けばいつの間にか三十分。色々としーメンスさんに聞いてきましたけれど、次で最後にさせていただきます」と思います」

もうそんなにか

あつという間だった

時間が経つのは早いのがう

終わらないで

毎秒やって

「最後の質問は……どれにしようかな、つと。うん、これにしましょうか。ミルらじネーム、夢ひとえさんから『ミルファ様、シーメンスさん、こんミルー！ シーメンスさん

に質問です。他のV t u b e rさんの動画や配信はどれくらい見るのでしょうか？

あとオススメV t u b e rがいたら教えてください」といふことですが――」

「うーん、そこまでたくさんは見えないんだよね。あんまりのんびりした時間も取れないから、どうしてもね。だからU n i t yいじってたり動画作成している裏で流すくらいかな」

「あー、よく分かります。私も女神としての雑務が忙しくて他のV t u b e rさんの配信を見れなくて。V t u b e rが好きでなつたはずなのに見れなくなるジレンマ、ありますよね」

あー確かに

あー…

「そうそう。その中でよく見てるのは、ものづくりV t u b e r東鋼巧さんの配信かな。あの声はすごく柔らかいから作業が捗るんだよね」

巧さんだ！

誰？

Vの異端児さん!

東鋼殿とな!?

工作はいいぞ

「東鋼巧さんというと、私、寡聞にしてあまり詳しくはないのですが、ラジオを自作されていたりする方ですよ? 確か最近ですと、自動開閉するゴミ箱の動画が上がっていたような……」

「だね。V t u b e rでは珍しい、リアル映像を駆使した工作系の動画や配信を上げている方だよ。週一で工作しながら雑談する配信をされていて、そのアーカイブは全部見る……というか作業中にのんびり流して聞いたかな」

なんだかんだ詳しい女神様

ほうほう

東鋼殿の動画は分かりやすいんじゃないかな

お手軽、見易い、分かりやすいの三拍子

「あとは……10分前後の動画なら移動中とかに見てるかな。東鋼さんの工作動画はも

ちろんだけど、今爾孟いまにもうさんたちのマイクリレーとか猫弁さんの応援歌とか。あとは灰田さんのカルボナーラ動画、リリシアさんの騎士団の動画……あまり見てないって言ったけど、長くないのならだいたい見てるのかもしれないね」

応援歌聞いているんだ

カリフラワーは食べた方がいい

騎士団の動画やばかったよね

無修正（ ）のあれか

すごく見ているじゃん

「応援歌ですか！ 魔法少女Vのティアアさんがカバーしたので私も知りましたが、あれいいですよね」

背中を優しく押してもらえる曲

人生背負ってけ

もつとカリフラワー食べよ

「実は応援歌のカバーソング、既に七本くらいあるんだよね。連続再生しているとテンション上がってすぐくいいからオススメだよ」

「それは聞かなくては損というもの、このあとすぐにでも巡回してきますね。……つと、聞きたいことはもつとあるのですけれど、そろそろお時間みたいです。本日はバーチャルクリエイターのシーメンス・クラウンさんにお越しいただきました。シーメンスさん、ありがとうございます!」

「こちらこそ呼んでくれてありがとうございます。……ところで、一ついいかい?」
「おやおや、何でしょう?」

お?

はじまった

なんだなんだ

「そんな大したことじゃあないよ。この女神様の領域に連れてこれる人って選べるんだよね?」

「多少の制限はありますが、もちろん誰でも。それを聞いてくるといふことは、つまり……」

「うん、そういうこと。せっかくだし呼んでもらいたい人がいるんだ」

い つ も の

茶番乙

「なるほどなるほど。さてその人物とはいったい……」

「さつき少し話に出した人物さ。地球とは異なる異世界ミッドガードのありのままを伝えるという、錬金術士のV t u b e r。ミッドガード広報局のリリシアさん」

「——はい！ というわけで茶番にお付き合ひ下さりありがとうございます！ 次回のゲストはこちら、ミッドガード広報局からリリシアさんです」

おお！

おー

ミッドガード！

リリシアちゃんだー

「騎士団の動画もそうだけど、錬金雑談もすごかったよね。あれはほんとに異世界と言

うしかないよ」

「ですね。まさしく異世界! って感じで釘付けになっちゃってました! そんなリリシアさんに色んなことを聞いていっっちゃいますので、マシユマロや質問箱にどしどし送ってきてくださいね!」

あの人コラボするんだ

対談企画出てほしかったから助かる

いろいろ聞いてみたいよね

「さてそれではこの辺りで締めさせていただきます。本日のミルらじ、お相手は女神系V t u b e rのミルファと」

「バーチャルクリエイターのシーメンス・クラウンでした。よかったらチャンネル登録と評価もよろしくね」

「もちろんシーメンスさんのチャンネル登録もしてくださいね。それではみなさん、さようならー!」

「さようならー」

さようならー

おつミルー

お疲れ様！

この放送は終了しました

《left》

▶

▶?

♪

・ライブ

《left》

?

?

?

?

#ミルファlive #ミルらじ!

【ミルらじ!】女神ミルファはラジオがしたい!その3【ゲスト：シーメンス・クラウン】
 《left》 352 人が視聴中・41分前にライブ配信開始《/left》 ☑1
 27 ☑2 ?共有 ≡?保存 :

《left》 ミルファ@女神系バーチャルyoutuber 《/left》 チャ
 ネル登録

チャンネル登録者数 1914人



「はい、配信終了しました。お疲れ様でした」

「お疲れ様でしたー。今日は呼んでくれてありがとうございますございました」

「こちらこそありがとうございます」

画面の前で宮原飛鳥は通話相手に配信終了を告げる。個人用のアカウントを使って
 しっかりと配信が終わっていることも確認して、ふうと一息つく。

コラボ配信はやはり緊張してしまう。緊張していることを視聴者に悟らせないようにしつつ、しっかりとスムーズに場を回して盛り上げなければならぬ。性に合っているとは言えない企画だが、自分がいろんなVと対談したいという邪な思いから続けている。それがなかなかどうして皆に楽しんでもらえているのだから、まあ悪くはないのだろう。

今回は前からやりたかったシーメンス・クラウンとの対談だった。かねてより聞きたかったバーチャルクリエイターとしての活動のきっかけ、3Dゲームの製作状況や魔法などのエフェクトについての話、或いはシーメンスの個人的な話。40分という短い時間にしては中々の内容だっただろう。

「ところで、次回がミッドガードさんって本当なんですか？」

「はい。すでに打診してオツケー貰ってます」

「——大丈夫なんですか？」

シーメンスの心配げな声に、見えていないと分かりつつも、飛鳥はつい頷いてしまう。シーメンスの言いたいことは分かっている。事前の打ち合わせで茶番について話していた時に、おおよそ似たような話はしていた。ランダマイズされた騎士団の鎧の摩耗、細かな造形の違い、個々により異なる魔法陣の数々、縦横無尽な動きに正確なトラッキング。その他さまざま“リアルらしさ”は総合してみれば異常なものとなる。一

一つは確かに問題ない。ミルファもシーメンスも出来なくはない。だがすべてがあのそこまでの精度となると、あらゆるものを度外視しなくてはならない。

そもこれまでの動画ですら違和感の塊だった。リロシアなる人物の中の人というものを想定した際、どれほどの技術者集団になるのか。プロと名乗るには未熟な飛鳥だが、これでも3Dの畑で仕事をしている身としてはありえないように思えた。それはシーメンスも同じであつたらしい。

「大丈夫ですよ。なにせ私はすべてを見通す女神様ですからね」

つまりリロシアという存在は、ありえないほど組織力を持った技術者集団、或いは——こちらこそもつとありえない話だが——本物であるということになる。後者の可能性は考えることすら馬鹿らしいものではあるが、僅かながらもそうであつてほしいと思つてしまうのは仕方ないだろう。そうでなくては女神という眉睡設定で始めていない。

「それならいいんだけれど……、気をつけてくださいね。その、色々ありましたし」「もちろんです。ご心配ありがとうございます」

言葉を濁すシーメンスに飛鳥は思ひ出す。デビューしたかどうかくらいの時にV界隈で起こつた事件——通称『C事件』を。

ボイスチャットアプリ『Chatcode』で複数のVがコラボした際に起こつた事

件だ。互いの情報共有の欠如や配信スタイルの違いから起こった不和と、それにとまなう炎上事件。コラボに対する拒絶反応は、その後起こった別のコラボにより払しょくされたのだが、それでもコラボの際には時折話題に上がるほどである。

飛鳥としてそのことに対して無知ではない。知ったのはラジオを始めようと思ってコラボの歴史を調べていた時だ。詳しい事件の内容については伝聞と推測塗れで正確なところを知っているわけではない。だがそうした事件の存在は認識している。故に事前の打ち合わせを厳密に行^{おこな}っているし、質問内容を共有し、茶番の可否やその台本が必要か否かまですべて話し合っているのだ。

今度のミッドガード広報局とのコラボはその再来となりうる。シーメンスはそう思っ^って懸念を示しているのだろう。

もちろん、分かっている。気をつけなければならない。前々から楽しみであったミッドガード広報局とのコラボ、リリシアとの対談ではあるが、線引きはしっかりしなければならぬ。

【ミルらじ!】女神ミルファはラジオがしたい!その4
【ゲスト：ミッドガード広報局】

なう
ろーでいんぐ

《left》
▶
▶?
♪
・ライブ
《left》
?
?
?
?

#ミルファalive #ミルらじ!

【ミルらじ!】女神ミルファはラジオがしたい! その4 【ゲスト:ミッドガード広報局】

《left》 332 人が視聴中・1分前にライブ配信開始《left》 ☒2

☒ ? 共有 ≡ ? 保存 :

《left》 ミルファ@女神系バーチャルyoutuber 《left》 チャ
ネル登録

チャンネル登録者数 2514人

待機ー

待機なのじゃ

待機

お

始まった?

「——これで天界の雑務はおしまいっと。うん、これならミルらじに間に合いそうです
ね」

始まったー

おおー?

え?

「聞きたい質問はまとめましたし、後はお招きするだけです。召喚魔法を起動して——
——あら?」

事故?

気づいていない?

え?

ん?

魔法陣!

大きいな

「気のせいかもしれませんが、もう一回。召喚魔法、はつど……え？」

何も起こらない

え？

ぼんこつ女神

これはぼんこつ

「これは……術式がうまく起動していない？ 何が起こっているのでしょうか。……なるほど、リリシアさんに干渉する部分の魔法式が作動していないみたいですね」

なるほど、茶番か

ぼんこつだ

茶番ね。なるほど完全に理解した

「こうなってしまうっては仕方ありません。ラジオでは初めての試みですけど、あちらの世界に出向くことに致しましょう」

え?

そマ?

え?

なんと?

リリシアちゃんだ

一人?

「♪ ♪ うん、これで精霊の水薬完成! ……それにしても、ミルファさん遅い

なあ。何かあったのかな？」

おうた

お歌

見れば見るほど某アトリエなんだよなあ

「あれ？ 見たことない手紙が——『召喚魔法の不備によりリリシアさんをこちらにお呼び出来なくなつてしまいました。そこでもし宜しければ、そちらにお邪魔しても大丈夫でしょうか？』」

一方その頃だ

リリシアちゃんサイドか

「……あつ。そういえばそうだった……、伝え忘れちゃつてたね。風精^{シルファイ}霊様、風精^{シルファイ}霊様、今日は少し緩めてくださいませ」

『——？——』

不穏なあっ

あっ

シルフィ?

新キヤラ?

綺麗な声!

姿が見えないんだが

「これで大丈夫のはずだけれど……、せっかくだからミルファさんにはそのままこっちに来てもらおうかな。そうと決まれば歓迎の準備しなくちやね!」

なるほど

これは楽しみ

期待

なう ろーでいんぐ

映った

始まった！

こんミルー！

「はい、みなさんこんにちはー。本日も始まりました、女神ミルファはラジオがしたい！
略してミルらじ！メインパーソナリティーは私、女神系バーチャルyoutuber
rのミルファです。そして！」

「異世界のみなさん、こんにちはー！ミッドガード広報局のリリシアです。よろしく
お願いします」

「よろしくお願いします。今日はいつもの天界ではなく、なんと、リリシアさんの
錬金工房にお邪魔させてもらってます！」

こんにちはー!

ほんとだ、お邪魔してる

二人並んでいるのすごいなこれ

「サブライズですよサブライズ! リリシアさんのアトリエが見られるのも、今のところ、こことミッドガード広報局だけ!」

召喚魔法失敗しただけやろ

ほんこつ女神

ほんこつさんだ

「そういうわけでリリシアさんをお迎えしてーほんこつじゃないですよー! リリシアさんからも何か言ってください! 私はほんこつじゃないんですー!」

「あはは……、まあ失敗の原因はたぶんこつちだからね。ミルファさんはほんこつって決まったわけじゃないんじゃないかなあ?」

それでもほんこつ

ぼんこつ女神様

さっきの声って誰？

シルフイって？

「さて、リリシアさんをお迎えしてのミルらじですけど。いろいろと聞きたいことがあります。コメントにもありますが、先ほどの映像にあったシルフイって何ですか？ 私、聞いていないんですけれど！」

「ごめんね、すっかり忘れちゃった。んー、口で説明するより見せた方が早いかな。風精霊様、シルフイ風精霊様、どうかお姿をお見せくださいませ」

なになに

え？

え

風!?

「風、でしょうか？ それにシルフ……、名前から推測するに風に関わる精霊です？」

「わ、わ！ すごい、その通り。さすが女神様！」

「ふふ、それほどでもありませんよ。するとつまり、ミッドガードには精霊さんがいらつしやるんですね。或いは風以外にも?」

「うん。土、水、風、火。四元素それぞれに精霊様がいて、世界中に偏在しているんだよ」
「精霊もいらつしやる世界となると、私たちが想像するようなファンタジー世界みたいな感じでしょうか。ちょうどミッドガードについてもいっぱい質問が来ていますので、質問に答えながらいきましよう」

「はい」

おー!

いろいろと知りたいのう

これ大丈夫なん?

「もちろん答えにくかったり答えたくないものはノーコメントで大丈夫ですよ。リリシアさんの動画ネタでしたら、その時のお楽しみということ。それでは一通目、ミルらじネーム、ヤクマルさんから。『ミルファ様、リリシアさん、こんミルー! 私は活字が

好きで休みの日になるといつも図書館へ足を運んでしまいます。お二方は休みの日にいつもこんなことしちゃう、みたいなことはありませんか?』ということで。どうなんですか? 本とか読まれます?」

「錬金術のアイデア出しでそれなりに読むよ。んー、あー、でもそれくらいかな。素材図鑑とレシピ本くらいしか読まないかも」

「私もあまり活字は読まないですね……。勉強のために本を読むことくらいはありますけど、小説の類になりますと、それはもう、全然です」

「小説? そっか、そうだよ。ミッドガードには娯楽本が少ないからそういうのすっかり忘れてた」

知りたい

確かに気になる

本かあ

読むん?

あんま読まないん?

ん?

「あら、そうなんです?」

「吟遊詩人さんにお願ひすれば事足りるし、わざわざ羊皮紙に書くには大変だからね。それに皆が読めるわけじゃないから」

「んうー? ……あ、そういうことですか。確かに文字読める人が少ないとあれですものね」

「少ないって言うほど少ないわけじゃないけど、王都でも四人に一人は読めないんじゃないかな? しつかりした本を読める人はもつと少ないはずだよ、たぶん」

吟遊詩人?

ほんと中世ファンタジー感

かわいい

かわいい

識字率……

女神さまのんー、可愛い

「なるほどなるほど」

「それで休みの日、かあ。うーん、錬金術するか魔物狩まものがりの依頼受けるかだから、結局お仕

事してるのかな」

魔物狩り？

なんぞ？

物騒そうなワード

「あら、魔物狩り……？ 魔物狩りというとシャルロットさんの就いているお仕事、でしたよ

ね？」

「うん、そうだよ。私だって、シャルちゃんほどじゃないけれど、それなりに動けるもん。

現にこの前の……あつ」

「？」

？

あつ

不穏なあつ

「ふふつ、これは内緒なんですー。いつかどこかで見せられるかもだから、その時を楽し

みにしててね」

「何とも気になる言い方ですね。さてさて、次の質問行っちゃいましょう。ミルらじ
ネームAzuki kurisanから。『ミッドガードって——』」

女神さまは？

女神様は？

あれ？

『——どんな感じの世界——』

「ミルファさん、ミルファさん」

「あら？ どうされました？」

「みんなが答えてないよって。ミルファさんは休日どんな感じで過ごしてるの？」
「あつ、あらら……、これはうっかりしてしまいましたね」

ナイス

g j

うっかり女神

ぼんこつうっかり女神

うっかりぼんこつ女神

ぼん女神

「んー、基本ぐうたらと……あ、いえ、おしやれなカフェにいつたり読書したりですね、はい！ 知的な女神ライフ過ごしてますよ！」

「カフェ？ あ、そうそう、地球？ のことについても聞いてみたかったんだよね。カフェってどんな感じなの？」

ぐうたら？

これは

これは

おい

草

「どんな感じと言われましても、中々表現が——。んー、ゆったりしたシツクな感じで、コーヒーとか紅茶とか嗜める、ちよつとお洒落な庶民向け？ みたいな感じですね」

「あれ? カフェ、だよな? お貴族様向けとかじゃなくて?」

「皇族御用達みたいな高級なところもあると思いますけれど、こちらは基本庶民向けです。ミッドガードにはあんまり無いんです?」

嘘松

ぐうたら女神様

あれ?

リリシアちゃん?

「うん、あんまり。そっかあ、カフェかあ。うーん……」

「あら、あらら?」

「うん、よし! 今度地球に行くことになったら絶対にカフェに行くことにする! ミルファさんおすすめめの場所ってあるの?」

「おすすめ、おすすめですか。そうですね、せっかくだから一緒にご案内したり、なんて

——

「え、いいの?」

「——言ってみたり、リリシアさん?」

貴族？

ん？

え!?

リリシアちゃん地球来れるの？

朗報，リリシアちゃん地球行き

軽いな

うえ？

悲報，女神様出会い厨

「うん？」

「あれ、え、えつと？ 冗談のつもりだったんですけど、大丈夫なんです？」

「大丈夫だよー。だってこうして会って話してるし、ミルファさん優しいし」

「会って——まあ、はいそうですけど……」

リリシアちゃん!?

え？

朗報、オフ会決定

「それじゃあ決まりってことで！ えっとカフェに行ったり本読んだり、だよな？」

「……あれ、本？」

「なんだか急な展開ですね……、んう？ そ、そうですよ、本とか」

「本、あんまり読まないって言ってなかったっけ？」

あ

気づかれたか

草

君のような勘のいいガキは

「それは、えっと、あはは……。はい、見栄を張りました……」

「ミルファさん？」

「そうです、うっかりでほんこつでぐうたらな女神様ですよーだ！ 休みの日はごろご

ろぐうたらしてますよー！ もうっ、次の質問行きますよっ！」

草

ほんこつ

ぐうたら

ほんぐう女神様

. . .